

## 【日立市】

### 1人1台端末の利活用に係る計画

#### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

日立市では、令和6年4月に「日立市学校教育振興計画」を策定し、情報技術の急速な進展や人口減少などにより、将来の予測が困難な時代の中で、多様な人々と協働しながら、新たな価値を創造し、夢に向かって、未来を拓く人材の育成を目標とした。

その中で、1人1台端末を始め、電子黒板、デジタル教科書等を活用し、操作方法の学習にとどまらず、情報モラルに配慮しながら、児童生徒の学びの充実を図ることとしている。

#### 2. GIGA第1期の総括

日立市では、これまで1人1台端末の整備のほか、電子黒板、デジタル教科書及び校内通信ネットワークの整備を進めてきた。

また、教職員には校務用パソコンとは別の授業用タブレット端末を1台ずつ整備することにより、セキュリティを確保しながら、事務の改善及び授業の効率化を図ってきた。

教職員に対しては、ICT支援員から各校に対し研修会を実施してきたほか、教育委員会が発行する「GIGAだより」で情報教育の最新情報を共有することにより、指導力の向上を図ってきた。

これらの対応により、1人1台端末を導入した当初と比較し、ICT機器の活用率は大きく向上している。

今後は課題となっている教職員間のスキル差を無くすため、学校の垣根を越えた市内横断的な研修会の実施や、作成したマニュアルの共有などが必要である。

#### 3. 1人1台端末の利活用方策

1人1台端末の利活用をさらに進めていくにあたり、端末の更新により、児童生徒が使用できる環境を引き続き維持していくとともに、今後はより高度な利活用方策として、以下の検討を進める。また、一部の学校で実施した方策については、その取組事例について教職員による相互研修を実施するなど、市内各校に展開できるようにする。

##### (1) クラウドサービスの活用

クラウドサービスには、教材として有用な「オンラインデザインソフトウェア」や「教育用ゲーム作成ツール」など、子どもたちの興味を引きながらICTを活用する力を育むものが提供されているため、これらを検証し、活用していく。

(2) 持ち帰り学習の推進

今まで授業中に実施していた当日の授業の振り返りを、自宅でタブレット端末を使用してまとめる等により、限られた授業時間を確保することができるため、有効な持ち帰り学習方法を検討し、推進していく。

(3) 電子黒板及びデジタル教科書によるデジタル活用能力の向上

1人1台端末に合わせ、電子黒板やデジタル教科書を授業で最大限に活用することにより、ICT機器を使いこなし、デジタル活用能力の向上を図るとともに、授業において資料の共同制作や全体発表を取り入れることにより、協働的に学ぶ力や表現力、プレゼン能力の向上を図る。

(4) 児童生徒からの教育相談

学習や人間関係などの悩みを持つ児童生徒が1人1台端末を利用し、場所や時間を選ばずに気軽に教職員に相談できる環境を整備する。